

建築計画Ⅰ（A 専門科目）

科目名：

建築計画Ⅰ（英文科目名：Architectural Planning I）

2単位 建築学科3年 通年 講義

担当教官：

尾立弘史（居室：建築学科棟2階）Email:oryu@oyama-ct.ac.jp

授業目的：

人体寸法から機能寸法、単位空間の寸法を理解する。

住宅の計画から設計方法を理解し、あわせて、集合住宅の計画方法の基礎を理解する。

達成目標：

1. 設計に必要な「もの」の大きさが分かる
2. 住宅の設計に必要な知識を身に付ける
3. 集合住宅の計画条件が分かる

教科書：

コンパクト建築設計資料集成 第2版

各種建築・デザイン関連雑誌

参考書：

特になし

学習方法：

予習-前期は「資料集成」が中心であるので、目を通しておくこと

授業-講義が中心であるがスライドやOHPにて図面を提示しながら行うことが多い

復習-「資料集成」と講義内容が異なるところがあるので確認しておくこと

学習保証時間：

100分[時間/週]×15[週/前期]+100分[時間/週]×15[週/後期]=50.0時間/年

キーワード：

寸法、生活、住宅、集合住宅

授業内容：

- 1、製図方法・・・・・・・・・・1週
- 2、人体寸法・・・・・・・・・・1週
- 3、機能寸法・・・・・・・・・・1週
- 4、動作空間・・・・・・・・・・1週
- 5、単位空間・・・・・・・・・・3週
(前期中間試験)
- 6、住宅の分類と住様式・・・・・・・・1週
- 7、気候と住宅・・・・・・・・・・2週
- 8、構造方式と住宅・・・・・・・・・・2週
- 9、住宅の再生、伝統様式・・・・・・・・2週
(前期末試験)

後期

- 1、住宅デザインの流れ・・・・・・・・2週
- 2、現代の住宅デザイン・・・・・・・・3週

3、設計演習・・・・・・・・・・2週

（後期中間試験）

4、集合住宅の分類・・・・・・・・1週

5、中高層住棟の形式・・・・・・・・1週

6、配置方式と交通問題・・・・・・・・1週

7、平面形式の変遷・・・・・・・・1週

8、集合住宅の実例・・・・・・・・1週

9、地域施設の配置理論・・・・・・・・2週

（学年末試験）

授業方法：

カリキュラム中の位置づけ：

「人体寸法」「物品」から「単位空間」などの身の回りの寸法が、どのように建築空間の設計に利用されるかを理解するもので、設計の考え方の基礎と位置付けられる。また、一番身近な建築空間である「住宅」をとりあげ、建築計画の基礎を理解させる。

この科目を学ぶために先行して理解する必要のある科目

建築一般構造

この科目と同時に学ぶ関連科目

建築設計Ⅰ、造形・意匠Ⅰ

この科目の後に学ぶ関連科目

建築計画Ⅱ（4年通年）、建築設計Ⅰ（3年通年）、建築設計Ⅱ（4年通年）、卒業設計

評価方法：

定期試験 80% 演習 20% で総合評価する。

連絡事項：

学生へのメッセージ：

設計に必要な身の回りの物の寸法に関心を持つこと。実際の設計例をスライドなどで紹介するが、各自建築関連雑誌で多くの作品に目を通しておくこと。

=====